

ようこそ、記憶の近道へ。

Monoxerのご紹介(社会人編)



貴社の人材育成は、実際の業務成果に繋がっていますか？

あるべき姿

- ・ 学んだ内容が現場でしっかりと活用されている
- ・ 人材育成の成果が測定できている



現状

- ・ 学んだことが活かされていない
活かされているとしても、一部の受講生だけである
- ・ 成果が不明瞭であり、
振り返りは受講生のアンケート程度



人材育成には、成果測定や現場での活用に多くの課題が存在しています

様々な取り組みを行っているが・・・

うまくいかないことが多い

振り返り用のe-ラーニングや、アセスメントで
研修の定着度合いを評価する



e-ラーニングやテストはその瞬間に
覚えているかは測定できても、
現場に戻るまで定着しているかは測れない

研修効果が上がらないことを研修内容の問題とし、
コンテンツの見直しに多くの時間を割く



そもそも研修内容が学習者に定着していないと、
中身を変えてもアウトプットに繋がらない

研修効果の測定を受講生アンケートで行う



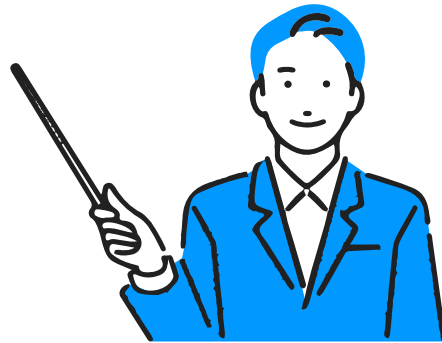
受講生が評価しがちなのは“楽しい研修”
成果につながるかどうかはアンケートだけでは
測定できない

研修効果を業務成果で測ろうとする

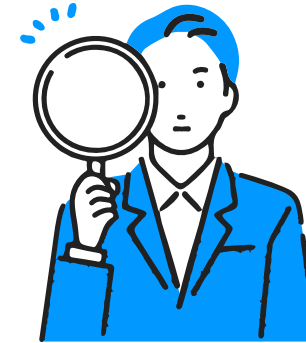


業務成果は外部要因や、研修以外の本人の成長、
職場環境などにも大きく左右されるため、
直接的な相関は意味をなさないことが多い

定着させるための仕組み

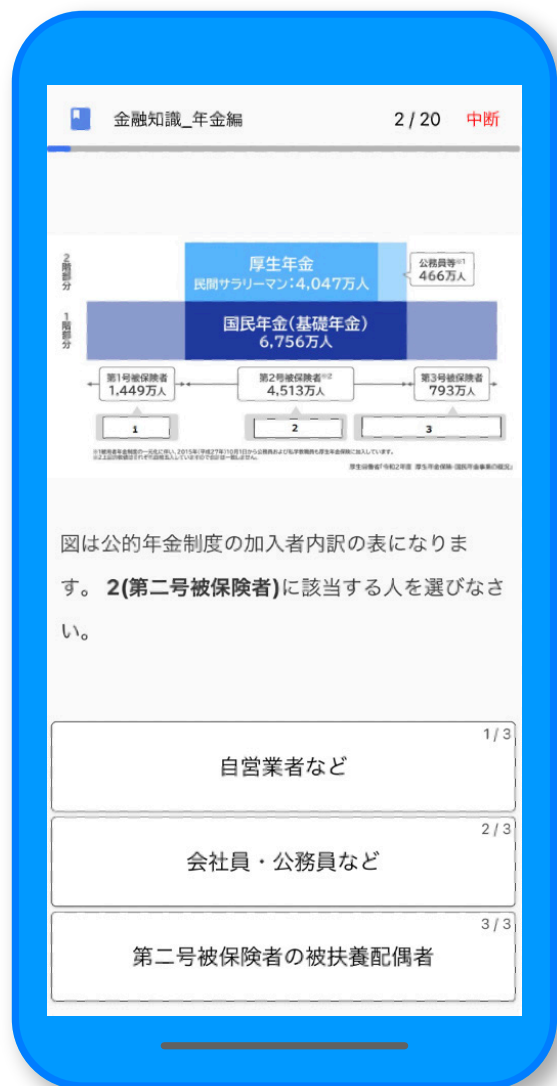


定着の見える化



Monoxerは学習内容を
「定着させるための仕組み」と「定着の見える化」を実現する、
記憶定着に特化した学習ツール

Monoxer サービス概要



解いて覚える記憶アプリ

AIを活用した記憶・定着のための学習ツール

憶え(させ)たい情報を登録するだけ

csvで正解をインポート

問題の自動生成

正解を元に問題と誤答を自動生成


アダプティブラーニング

習熟度・忘却度に応じて出題頻度や問題難易度を自動調整

記憶を可視化

学習状況と記憶状況をリアルタイムで確認可能

Monoxerは「定着」に特化した学習ツール

スキル習得の過程 

	STEP1	STEP2	STEP3
	理解(わかる)	定着(できる)	活用(使える)
必要なこと	必要な知識を整理し体系化	高頻度の反復や忘却事項のケア	実務での成功・失敗体験
具体的な学習例	<ul style="list-style-type: none"> ・e-learning ・勉強会 ・研修受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを何度も読む ・紙にまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場での試行錯誤 ・OJT ・成功事例共有
実施主体者	企業の人事部や企画系部署にて実施されることが多い	学習者本人の自主性に任せることが多い	現場のマネジャーや先輩によってサポートされることが多い

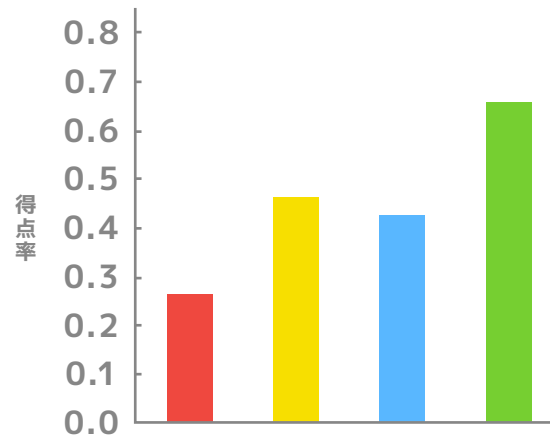
研究からも、「問題を解く」ことが、 記憶定着に有効であることが示されています

研究概要

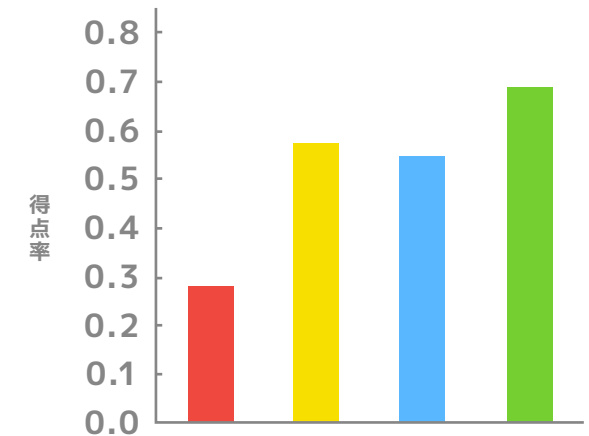
学習対象	科学に関するテキスト
被験者	80名の大学生
学習方法	右に示す4種類の方法をそれぞれ実施
テスト時期	学習から一週間後に実施

結果

元の文章にそのまま載っているものを問うテスト



推論が必要なテスト



- 一定の期間で読むだけ
- 読む+概念図を作る学習

- 繰り返し読む
- 読む+テストによる学習

出展: Retrieval Practice Produces More Learning than Elaborative Studying with Concept Mapping(2011: Jeffrey D. Karpicke and Janell R. Blunt)

学習目的に応じ、様々な種類の問題を学習可能です

業界知識

金融知識_年金編 2 / 20 中断

図は公的年金制度の加入者内訳の表になります。2(第二号被保険者)に該当する人を選びなさい。

1	2	3
第一号被保険者 1,449万人	第二号被保険者 4,513万人	第三号被保険者 793万人

厚生年金
民間サラリーマン: 4,047万人
公務員等[※]
466万人

国民年金(基礎年金)
6,756万人

1/3 自営業者など

2/3 会社員・公務員など

3/3 第二号被保険者の被扶養配偶者

業務マニュアル

Monoxer マニュアル 7 / 18 中断

管理者アカウントの登録に必要な情報は、「表示名」「」「メールアドレス」「アカウント種別」である。

全 号 員 学 徒 教

校 生 番 級 職

← → 確定

資格対策

土木測1テスト(1回目) 12 / 20 Break

No. 0の地盤高 = 10.0 m

下図のようにNo.0からNo.3までの水準測量を行い、図中の結果を得た。No.3の地盤高は次のうちどれか。なお、No.0の地盤高は10.0 mとする

1/4 11.8 m

2/4 12.0 m

3/4 12.1 m

4/4 11.9 m

社内知識

4月新入社員研修 7 / 20 中断

死亡した被保険者	受給対象者	受給できる年金	年金以外の給付
第1号被保険者 第3号被保険者	自営業者・専業主婦等の国民年金に加入中の本人または子のいる被保険者 または子	【 ? 】 寡婦年金	死亡一時金
第2号被保険者	厚生年金加入中の会社員・公務員等に 加入中の本人または子のいる被保険者 または子、配偶者(再婚後)	遺族厚生年金 障害厚生年金 老齢厚生年金 退職給付金 退職一時金	-

図の【 ? 】にあてはまる語句を答えよ。

1/4 障害基礎年金

2/4 遺族基礎年金

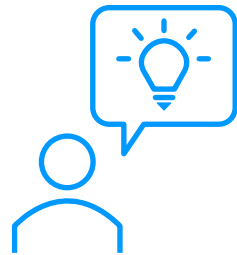
3/4 老齢基礎年金

4/4 在職基礎年金

記憶定着をより確実に・より早く実現するために、
「記憶度」と「忘却速度」の予測から、個人に合った問題を出題します

1

記憶度の算出



- ・生成した問題の正誤予測
- ・正誤予測と結果により記憶度更新

2

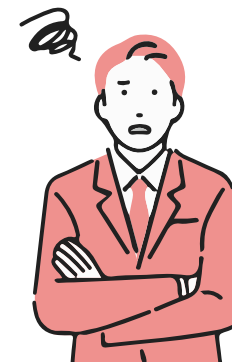
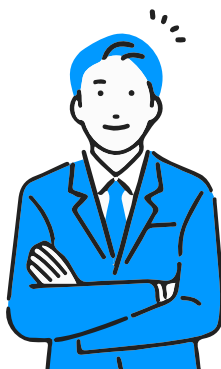
忘却速度の算出



- ・過去の回答傾向から忘却速度を算出
- ・時間経過とともに忘却度を更新

長期的な記憶定着を、最も効率的に実現するため、
個人に合わせた順序×頻度×多様な問題形式で出題

定着状況を可視化することで、個人に合わせたフォローはもちろん、
人材育成施策の見直しもデータドリブンに実現します



サービス知識



記憶度
90%

業界知識



記憶度
70%

顧客事例



記憶度
80%

サービス知識



記憶度
85%

業界知識



記憶度
40%

顧客事例



記憶度
10%

実際にご活用頂いている 企業様の事例



Zoom研修後、Monoxerを活用することで、研修内容の記憶定着を実現。記憶したことにより、学習者は自信をもって営業できるように
23年度はより大きな成果を目指して、研修自体の改革にも着手している

業種：損害保険業

社員数：17,008人

Monoxer用途：代理店様向けの保険教育への活用



東京海上日動

Before

- ・研修後のアフターフォローが難しく、代理店様毎や個人毎に研修内容の活用度合いに大きな差分が出ていた
- ・研修の効果を調べるために、営業パーソンが各代理店様に訪問し、受講生の方の声を定性的に集めていた



After

- ・Monoxerを利用した受講生は、プログラム終了後の確認テストで全員高得点を獲得
実際の営業においても自信を持って商品の提案ができているといった成果が見受けられた
- ・個人の学習状況や記憶状況を、データで測定することによって、研修内容の定着状況にあわせた効率的な事後フォローを実現できた
- ・2023年度は更なる成果向上を目指し、半年間にわたる、保険代理店の若手営業向け教育プログラムをリリース
理解と活用に特化した対面/Zoom研修と、定着に特化したMonoxerと役割を分担することで、より効果が見込まれる研修へ刷新した

約7週間にわたり学習とアセスメントを繰り返し実施

スケジュールイメージ

運用のポイント

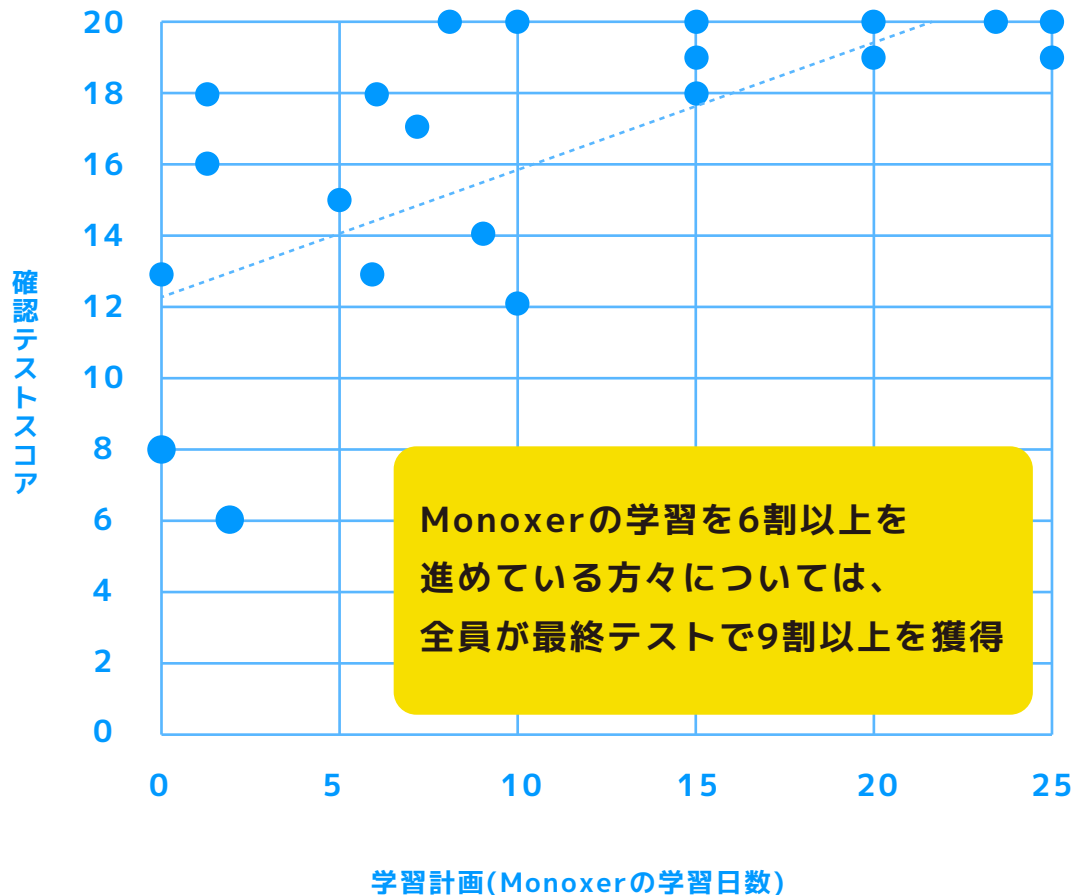
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4 Zoom研修	5 学習計画(week1)	6	7
8 学習計画(week1)	9	10	11 Zoom研修	12 学習計画(week2)	13	14
15 学習計画(week2)	16	17	18 Zoom研修	19 学習計画(week3)	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1 学習計画(week4)	2	3	4
5	6	7	8 学習計画(week4)	9	10	11
12 学習計画(week4)	13	14	15 確認 テスト	16	17	18

休

- ・毎週約90分のZoom研修と、その後5日間のMonoxerによる学習を3週間にわたって実施
- ・3週間の学習終了後、復習として10日間さらにMonoxerで学習を実施
- ・Monoxerの学習後には小テストを実施し、学習内容の定着度をチェック
- ・全ての研修を終えた後、まとめテストを実施することで定着成果を確認した

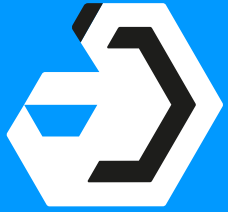
Monoxerで学習したことにより、知識が身につき、 営業活動に活かすことが出来ている様子が見受けられた

定量評価



定性評価(学習者の声)

- ・研修だけでは正直頭に残っていないことも多いが、
Monoxerで自主的に取り組むことによって、覚えられている感覚がある。
知識として思い出そうとしたとき、研修の内容というよりもモノグサの絵が
頭に浮かぶこともある。(入社1年目の方)
- ・問題を解く形式で学ぶことで、頭に入ったという感覚を持つことが出来た。
これまであやふやだったところも明確になったので、お客様の相談にもパッと
こたえられたし、知識が増えたと感じている(入社3年目の方)
- ・研修だけではテキスト渡されて、その後は自分でやるしかなかったが、
Monoxerがあることによって繰り返し学習できたのはよかった。
知識がついたことで、お客さまにも自信をもって説明することが
出来た感触があった(入社1年目の方)



MONOXER